

町 長	副町長	課 長	主 幹	担 当	合 議

別記様式第4号

会 議 等 結 果 報 告 書			
会議区分	会議	文書番号	上富子育第787号
		決裁期日	平成30年3月12日
名 称	平成30年度 第3回 上富良野町子ども・子育て会議		
日 時	平成31年 3月11日(月) 14:00~15:00		
場 所	上富良野町保健福祉総合センター 2階研修室		
出席者	子ども・子育て会議委員13人、欠席委員2名(別紙の通り) 保健福祉課長 鈴木 子育て支援班 吉河、白井、黒田		
内 容	<p>1 開会 鈴木課長司会進行 ・保健福祉課長挨拶</p> <p>今年度の上富良野町の子どもたちが安心安全で健全な育成を進めていくことができるのは委員の皆様のおかげと感じている。今回の会議に関しては、本年度実施した生活実態調査並びに事業計画策定に関わるニーズ調査の結果等が報告案件となっている。来年度に計画策定するにあたって、皆様からご意見等を賜っていく場面が次年度から都度用意されているので何卒よろしく願いたい。</p> <p>また、その他の案件では来年度に関わる事業についてご説明の時間をいただきたい。以降、議事については、山本委員長長の進行で進める。</p> <p>2 山本委員長あいさつ</p> <p>上富良野町の子どもたちがすくすくと健康に育っていけるために本会議は進められている。今後も皆様のお力添えをお願いしたい。</p> <p>3 議題</p> <p>【委員長】 議題1「子どもの生活実態調査結果について」事務局より説明をお願いします。</p> <p>【事務局】 議題1について事前に配布している資料1に基づき、説明させていただく。生活実態調査アンケートについては、昨年8月24日から9月7日に小学5年生、中学2年生、高校2年生の子どもと、その保護者に対して実施したところである。設問に関しては、北海道の調査項目をベースに実施。回収率、町の調査結果が特徴的な項目について道の調査結果と比較して説明。自由記載の内容は報告書として取り扱う旨の説明。</p> <p>【委員長】 続けて議題2「子ども子育て支援事業計画ニーズ調査結果について」事務局より説明をお願いします。</p> <p>【事務局】 議題2について事前に配布している資料2に基づき説明させていただく。回収率、クロス集計で見えてきた実態等について、第1期計画策定時に集</p>		

計した数字と比較した際に特徴的な項目を主に説明。

現在クロス集計をした結果を分析中であり、この結果をもとに第2期の計画策定をしたい。

【委員長】 資料1、2について質問等ないか。

【委員長】 質問等ないので、議題3「平成30年度地域子育て支援事業の実施状況について」事務局より説明をお願いします。

【事務局】 資料説明の前に2箇所の訂正をお願いしたい。

⑤実績見込み数54とあるが57が正しい数である。

⑪実績見込みの期間がH30.4～H30.2とあるが、H31.2の間違いである。

議題3について事前に配布してある資料3に基づき説明させていただく。

全11の事業のうち今年度から始めたもの、大きく数に変動があったものについて実態を踏まえて説明。

【委員長】 質問等ないか。

【千葉委員】 平成31年度に子ども・子育て包括支援センターが設置されたが、調査結果に認知が低いとある。具体的に認知を広げていく方策は現段階であるか

【事務局】 今年度より定期的包括相談を開催、広報での周知は行っているが、育児サークル等の団体、町のホームページを活用しての周知、関係機関への周知を充実させる事により、気軽に相談できるような環境を整えたいと考えている。

【委員長】 敷居を低くする方法がやはり必要だと思う。出生数は増えていないのに対し養育支援訪問実績数増となっている背景には、日本全国の虐待通告件数が増えている事もある。しっかりと充実させていかざるを得ないと思う。では、議題4「平成31年度の会議（協議）予定について」事務局より説明をお願いします。

【事務局】 資料4に基づき、今後の審議内容とスケジュールについて説明。

【委員長】 第2期子ども子育て支援事業計画の正式な策定期間の11月に向けて段階を追っていく事となるが、何か質問等あるか

【委員長】 特に意見がないとの事で、予定されていた議題は全て終了。その他として事務局より何かあるか

【事務局】 保健福祉課長から、当日配布である「子育て支援ワンストップ体制の構築」の資料について説明させていただく。

子ども子育て包括支援センター、児童相談支援センター、子ども家庭総合支援拠点についてそれぞれ説明。町として相談機能を強化する事で、妊娠期から18歳までの養育環境を整え、予防的支援に取り組んでいきたいと考えているため、ご理解を賜りたい。

【委員長】 国の情勢の変化に伴い、義務化となっている。生涯に渡って十分にサービスが受けられる上富良野町を目指していることが伝わって来た。何か質問等あるか

【広瀬委員】 説明の通り要支援が必要な家庭がある事は感じている。体制を新しく整え、一般の相談ができるような所は子育て支援拠点でという形は良いと感じた。来年度もファミサポとして支援していきたいと考えている。

【委員長】 リスクをすみ分けるとするのが今の時代の流れであり、普通の人には普通の中

で、リスクの高い人達は特別にサポートしながら、両方共良い関係で上富良野町の子育て支援が整っていくという説明であった。今後に期待したい。
特に他の委員よりその他ないか

【委員長】 特にないようなので、第2期子ども子育て支援事業計画策定に向けて、皆様とがんばりたいと考えているのでよろしくお願ひしたい。以上で本会議を終了とする。

4 閉会